



# ごわだより 五和公民館

ホームページ <http://www.hita-k.org/gowa/> ☎ 23-5622 FAX 22-4127

さていよいよ平成 27 年度がスタートし、ここ五和公民館・五和振興センターも職員の異動が御座いましたので、まずは退任された方・そして新しく職員となる方達のあいさつから、今月号はご紹介させていただきます。

みなさま方の「より豊かな生活」に、少し  
話になることになりました。五和地区の  
またご縁があり、五和のみなさまのお世  
うございました。  
「ご支援」指導をいただきました。ありがた  
なりました。  
数年、石井小学校には計 4 年間お世話  
になり、五和地区のみなさま方から多大な  
び申し上げます。「このたびの異動で五和公  
民館長として勤務させていただきますこと  
になりました。

## 新任のあいさつ

花々の美しい季節になりました。みなさ  
まにはご健勝にてお過ごしのこととお慶  
び申し上げます。「このたびの異動で五和公  
民館長として勤務させていただきますこと  
になりました。  
平成 24 年に五和公民館長を拝命し就任  
挨拶をさせて頂き早 3 年が過ぎました。今  
回、思い出深い五和公民館を去ることにな  
りました。  
在任中は皆様の暖かいお力添えを戴き、  
色々な事業を行ってまいりました。  
中でも昨年からはじめた石井小 4・5 年  
生のチャレンジ教室生の地区内練り歩き  
キャンプは思い出が深いです。キャンプ地  
(堂尾・内河野)では子供たちの作った食  
事で、近くのお年寄りと交流を持ちまし  
た。五和には自然が沢山あります。

## 退任のあいさつ

しでも貢献できるべく、みなさま方のご指導ご  
鞭撻をいただきながら、微力ながら公民館活動  
に邁進してまいりたいと存じます。  
なにとぞよろしくお願ひ申しあげます。  
みなさま方の益々の「  
発展」ご健勝を祈念申  
し上げ、就任のこあ  
いさついたします。

## 山口準一郎

五和をもっとよく知ること、地域の方々との  
触れ合いと、10 年後 20 年後も五和を愛しても  
らおうと始めました。地域の方々の方々の多大なるご協  
力に感謝が絶えません。  
3 年という短い期間でありましたが本当にあ  
りがとうございました。  
これから五和公民館が  
ますます盛んになっ  
ていくことを祈念して  
退任のご挨拶とさせ  
ていただきます。

## 石井 敏明



困ったときは当社におまかせ！  
雨漏り・排水の詰り・外回りの清掃など  
小さな事でもご相談ください  
**(有)樋口防水**  
TEL: 24-6624

お陰様で 40 周年 あなたの町の保険屋さん  
**株式会社 原田保険事務所**  
自賠責保険獲得キャンペーン **花火進呈**  
1 件でもお伺い致します  
〒877-0016 日田市三本松 2 丁目 2-9  
Tel.24-5050 担当 原田・峰松・有富

地元企業の皆さまへ  
このスペースの広告主を  
募集しています。  
詳細は五和公民館まで  
電話 23-5622 ①

地域包括支援センター《安心して暮らせる地域づくのために》

## 知っておこう！認知⑦

認知症の方への接し方について その 3

- 1、 何度も同じ質問を繰り返す  
対応・可能ならば根気よく、やさしく答える（ほか、前々回号をご参照ください。）
- 2、 入浴するのを嫌がる  
対応・気分がよい時をみはからって、入浴を誘う（ほか、前回号をご参照ください。）
- 3、 意欲や自発性がなくなったようにみえる

- 社会的だった人が家に閉じこもりがちになった
- おしゃれだった人が身なりに気を遣わなくなった
- 楽しんでいた趣味や好きだった活動に参加しなくなった

対応・本人が無理をせず、楽しめたり、役割をはたせることに誘う

- ・新しいことではなく、以前から親しんでいることから探す
- ・誘い方を工夫する
- ・繰り返し誘い続ける
- ・受け入れていただけないときは、誘う人を替えてみる

認知症の方の心を理解し、対応の方法を知り、ストレスのない関係を作りましょう。  
私たちは、認知症になっても安心して暮らせる町づくりを目指しています。

1人ひとりが正しい理解や知識を身につけていきましょう。

【地域包括支援センターまでお気軽にご相談ください。】

でんわ：22-0248

### 7 講 目

## ～石井から読み解く日本古代史の謎～ 伊藤塾事務局 佐々木 祥治

**石井神社の祭神** また、鉾（ほこ）の由来は、石井源太夫が八幡宮に祈願し、剣を大空に向かって投げた所、西南の方向に山野に落ちた。その所を、剣納山として石井大明神の社地として定めた。その後、石井大明神を建てたとある。この社は日田郡の本であるから、郡内の祭りは石井を初めとする事になった。尾張の国に蓬萊島（ほうらいじま）という宮地がある。

ここには源太夫を祭ってあるという。この源太夫というのは、小豊命尾張国造（おとよのみことおわりのくにのみやつこ・おわりこくぞう）であると言われている。（注：久留米大学の歴史研究をされている方で、神話の美濃は日田という説の方がおられる。高瀬にも美濃という地名の信号がある）別の説では、石井源太夫は、鞍形多尾から石井に移るときに西の方に向かい、これ（剣）を投げた。石井神社の建立について、852 年に鳥羽の子孫によって創立された。次に、大蔵永秀（ながひで）によって 1431 年に再建された。日田市郡中で日田に関係のあった祭神は石井神社のみではないか。そして石井源太夫は鳥羽の宿禰（とばのすくね）の末裔（まつえい）で石井の地頭（じとう）であったが、後にうきは郡の吉井に転居しており、今も石井氏にして子孫がいる。（以上抜粋）

また、昭和 11 年頃に『豊後日田古代文化史』を書いた志手 環氏は、（以下抜粋）石井を「いしい」と呼んでいるが、『風土記』の意からみれば「いはい」と呼ぶべき様に思われる。石井は、今「伊志伊」と訓んでいるが、『古事記』等に石を「伊波」と呼んでいる。磐井（いわい）は石井で伊波伊であり、その磐井が日田に縁故があり、日鷹吉士（ひたかのきし）や日下部の一族で、この地に繁栄した事が偲（しの）ばれ、磐井もの地で生まれ地名になったのか、母方の郷であつと推測できる。（以上） 志手氏も、磐井と石井を結びつけている。石井が「いはい」だという呼び名もあまり良いイメージはないが・・・  
この続きは次回号で・・・

地元企業の皆さまへ  
このスペースの広告主を  
募集しています。  
詳細は五和公民館まで  
電話 23-5622 ⑩

地元企業の皆さまへ  
このスペースの広告主を  
募集しています。  
詳細は五和公民館まで  
電話 23-5622 ⑪

地元企業の皆さまへ  
このスペースの広告主を  
募集しています。  
詳細は五和公民館まで  
電話 23-5622 ⑫